

5月18日	争議支援宣伝	18:00	四条烏丸
5月19日	戦争法廃止！街頭演説・デモ	16:30	京都市役所前
5月23日	消費税・社会保障宣伝	18:30	四条烏丸
	労働法制宣伝	18:30	四条烏丸
5月26日	第26回労働安全衛生学校	10:00	ラポール第1
5月29日	安倍改憲許さんデー宣伝	12:30	西院
5月30日	労働法制宣伝	18:30	四条烏丸
6月1日	高齢者怒りの行動	16:00	マルイ前



京都総評

京都地方労働組合総評議会：発行

第 220 号

発行所

京都市中京区壬生仙念町30-2 ラポール京都5階

京都地方労働組合総評議会（京都総評）

電話 075 (801) 2308 FAX 075 (812) 4149

E-mail sohyo@labor.or.jp URL http://www.labor.or.jp/sohyo/

〈発行責任者〉 梶川 憲 〈編集責任者〉 吉岡 勝

京都労働相談センター

電話 0120-378-060 E-mail scent@labor.or.jp



働くものの団結で、生活と権利、平和と民主主義を守ろう



大幅賃上げ！均等待遇実現を！ 安倍内閣はいますぐ退陣を！

第89回全京都統一メーデー

5月1日、二条城前広場を8000人が埋め尽くし、第89回全京都統一メーデー大会が開催されました。府内各地でメーデー大会が行われ、全12ヶ所で1万2000人の仲間が参加しました。

メーデー大会では、梶川実行委員長が「労働組合を大きくし、働く仲間と家族のための政治と経済を求めて頑張ろう」と主催者あいさつ。自由法曹団京都支部・福山和人弁護士

士、日本共産党・倉林明子参議院議員、新社会党京都府本部・小西晴也書記長が来賓あいさつ。京都府知事、京都市長のメッセージが紹介されました。

争議をたたかう仲間を代表して全厚生不当解雇撤回京都闘争団・川口博之さん、JAL不当解雇撤回争議団・小森啓子さん、青いとり保育園不当解雇撤回裁判原告・北垣光代さん、不当解雇撤回裁判をたたかうJMITU五大分会・石田尾恭吾さんが支援を訴えました。大会宣言を満場の拍手で採択したあと、3コースに分かれてデモ行進を行い、市民にアピールしました。

メーデー大会主催者あいさつ（要旨）

全京都統一メーデー実行委員長
梶川 憲



私たちは、「戦争か平和か、食えるか飢えるか」の岐路に立っています。メーデーの原点である8時間労働制を破壊し、残業代はゼロにする安倍「働かせ方改革」法案緊迫という情勢の下でメーデーを迎えました。安倍政権が、裁量労働のデタをねつ造してまで法案を

強行しようとしたことは許せません。「一括法案」と言うならば、一括して法案全部を撤回すべきではありませんか。「働かせ方改革」法案は廃案へ、全力をあげる決意です。安倍政権が世界で孤立を深めています。隣国が歴史的な平和への一歩を踏み出しました。大歓迎です。国連では、核兵器禁止条約の締結が進んでいます。この流れに背を向け、憲法9条改憲を掲げ、戦争法の正当化のためなら、日報を隠し、自衛隊員の命を軽んじる安倍政権です。政治の私物化、ウソつく政治、人権感覚のかけらもない

政府、「戦争する国」憲法9条改憲のためなら何でもする安倍内閣は、いますぐ総辞職すべきです。安倍政治を終わりにしましょう。知事選挙は、ひどい国の政治に對峙する、新しい府民主人公の地方政治をみんなでつくるたたかいでした。この一大共同のたたかいは、ここから新たな始まりです。政治でも経済でも、私たち一人ひとりが主役です。いまこそ、労働組合を大きくし、市民の皆さん、安倍政治と対決する野党の皆さんと力を合わせ、働く仲間と家族のための政治と経済を求めて、頑張ります。



来賓あいさつ（要旨）



新社会党京都府本部
小西 晴也 書記長
18春闘は今も続いている。1日8時間働いて生活できる賃金を勝ち取る労働者の運動に発展させていこう。
安倍政権は今国会で憲法改正発議とあ

労働者こそ社会の主人公



日本共産党京都府委員会
倉林 明子 参議院議員
南北首脳会談が行われ情勢が劇的に動いている。安倍政権こそ対話に踏み出せ。働かせ方改革法案を会期中に押し通す姿勢は断じて許すわけにいかない。

市民と野党の共闘を強め安倍政権を打倒しよう



自由法曹会京都支部
福山 和人 弁護士
知事選挙でのたたかいを通じて、新知事はしるも医療費に対する助成の拡充を検討すると言っている。私たちのたたかいが現実的に府政を動かしてきていること

私たちのたたかいが府政を動かす

とに確信をもつ。

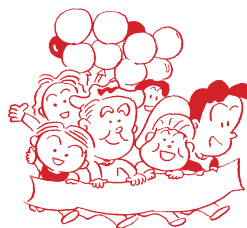
知事選挙では、普通の府民・市民が政治に参加することを大きなテーマとしてきた。私たちは肩を並べた。多くの人が「たが（京都）につながり、人とのつながりを作りたい」という点でも勝利したと言え、たたかいの中で得たものを力に地道にがんばっている。

国会と国民を欺き続け、公文書改ざん、防衛省は日報隠し、セクハラを繰り返す麻生財務大臣。この政権に国政を担う資格も能力もないことがはっきりした。6野党はかつてない結束、市民と野党の共闘は曲折があるが前進している。この流れを強め、安倍政権を必ず打倒しよう。

わが働き方改革法案を最重要法案にしていく。



安倍「働き方改革法案」阻止！
許すな！9条改憲！



最低賃金1500円めざし
今すぐ1000円に！



府内11ヶ所で統一メーデー
要求かけ、熱気あふれる集会に



母後、富津・与謝、舞鶴、福知山、綾部、船井、亀岡、乙訓、南山城、綴喜・八幡、相楽の各地で統一メーデーが開催され、約4000人の仲間が参加、うたごえ、お楽しみ抽選会、安倍総理・麻生大臣が登壇する仮装デモ、ラコンクルを趣向を凝らした内容も盛りだくさん、どの会場も熱気あふれ、楽しいメーデー集合となった。デモ行進は、「大幅賃上げを勝ち取ろう」「働かせ方改悪反対」「米軍基地はいらない」「全原発の稼働反対」「子どもの住みよ社会」「子どもの笑顔輝く学校を」など要求をアピール、今年は「安倍政権は辞めろ」と「うそ・ごまかの政治はやめよ」などのプラカードが多く見られました。

メーデーデコレーション・プラカードコンクール
審査結果（2018年5月1日 二条城前）
第89回全京都統一メーデー実行委員会

【北コース】	
デコレーションの部	
1位 京教組	もり・かけ亭
2位 京建労 伏見	自民塔
3位 京都市職労民生支部	みんなの願い こいのぼり
プラカードの部	
1位 年金者組合 伏見	アベ政治を許さない
2位 京障連 みやこ王生作業所	要求こいのぼり
3位 京建労 醍醐	改ざん・隠い・ねつ造 そんなんゆるせるか！
【中コース】	
デコレーションの部	
1位 京都国公	安倍晋三・ゴジラ暴走ストップ
2位 京都医労連	サウンドトラックとバレンススティック
3位 福祉保労	要求壁のぼり上り
プラカードの部	
1位 人権連	1人ひとりの要求を横断幕に込めて
2位 全国一般	森友・加計・労働法制、怒りのプラカード
3位 通信労組	写真プラカード
【南コース】	
デコレーションの部	
1位 JMITU カシワジ支部	うそつき安倍内閣は退陣
2位 自交総連	バラバラ運賃の解消
3位 京都府商工団体連合会	消費税増税キッパリ中止
プラカードの部	
1位 化学一般 新日本理化学組	労働組合に加入しよう 雇用を守れ
2位 個人タクシー互助協同組合	白タク合法化認めるな タクシー乗り場作って
3位 京都放送労組	安倍9条改憲 NO
次席 合同組織 全西陣労組	仕事よこせ

必ず職場に戻る決意

JA1不当解雇撤回訴訟団

小森 啓子さん

私たちの解雇は、不当な手続きでの解雇、不当な解雇だった。全国空席での宣伝行動、本社前座り込み行動、京セラ前の宣伝行動などを繰り返して、会社に争議解決を迫っている。安全にお金を使う日本航空にするため、安心して働ける職場にするため、何としても職場に戻りたい。引き続き支援を。

引き続きたたかいを継続

全厚生不当解雇撤回訴訟団

川口 博之さん

09年に解雇されて9年。京都の原告15人は大阪地裁・高裁の不当判決に屈せず最高裁に上訴したたか。しかし昨年11月不当にも最高裁が上告不受理を決定。裁判のたたかいは区切りを迎えたが決してあきらめず、原告は解雇撤回、職場に戻せと引き続きたたかう決意を固めている。国に向けた運動を強めていく。

争議支援の訴え

9つの争議団が登壇。代表して4人が訴え。

最高裁で逆転勝利を

青い保護服を身にまとった原告

北垣 光代さん

京都市と市立病院の青年を問う裁判は、京都地裁に続いて大阪高裁でも不当判決としてくくられ、原告6人は「このままでは終われない」と告を決定。最高裁で逆転勝利をめざしてがんばっている。安かつろ悪からの保護ではダメ。このままでは終われない。保育士が安心して働き続けられる保育をめざして引き続きがんばる。

不当解雇は許せない

JMITU 五反田会

石田尾 恭吾さん

昨年11月末、「本日午後5時までに会社を出るよう」と言われ、突然の全員解雇。会社の業績悪化が理由と言いが、本日は組合つづきが狙い、労組をつくった途端、不当労働行為のオンパレード。挙句の果てが不当解雇。「こんな解雇は認められない」とと分全員が裁判をたたかっている。必ず勝利した。

最低賃金の大幅引き上げ!

働き方改革法案を阻止しよう!



会場いっぱいの3000人が集まった憲法集会

第2回幹事会で当面の取り組み方針決定

5月12日、ラポール京都で第2回幹事会を開催。「全国の最低生計費調査に学ぶ」と題した学習会に続いて、当面の取り組み方針などの議案が活発な討論を経て採択されました。取り組み方針で、「安倍内閣打倒、憲法9条の改悪を許さないたたかいとともに、夏季一時金、最低賃金大幅引き上げめざして全力をあげよう」と提起しています。

憲法9条改憲NO!

3000万人署名運動をさらに大きく

安倍首相が「結党以来の課題である憲法改正に取り組み」と演説した自民党大会は、改憲「推進本部」で検討してきた9条に自衛隊を明記するなどの方針を確認しました。

5月3日の憲法記念日には、安倍首相が改憲派集会にメッセージを寄せ、「いよいよ憲法改正に取り組みのときがきた」「憲法に自衛隊をしっかりと明記し、違憲論争に終止符をうたなければならぬ」などと改憲への決意を述べています。

安倍首相は憲法に自衛隊を明記する改憲をめざして

都で21万筆超、全国で約1350万筆を集める大きな運動になっています。

国民は安倍改憲を望んでいないことが、この間の世論調査結果が示しています。5月2日付け朝日新聞では、「安倍政権のもとでの憲法改正に」賛成30%、反対58%。「安倍首相の9条改正案に」賛成39%、反対53%とそれぞれ反対が大きく上回っています。さらに、「安倍政権に求める政策の優先」では「憲法改正は最下位となっています」。

こうした世論をさらに広げ、改憲発議ができない状況を作りだすことが大事です。今取り組んでいる3000万人署名を全組合員に届け、すべての組合員が取り組む署名運動へと発展させていくことが重要です。

署名運動を通じて、「改憲NO」の世論を大きくして、安倍9条改憲を何としても阻止しましょう。

そして、憲法も民主主義も踏みじり、国民を欺き、政治を私物化する政治に対して、「安倍内閣は今

すぐ退陣を」の声を大きくしていきましょう。

残業代ゼロ・過労死合法化の

「働き方改革法案」阻止へ

裁量労働制で働く人の方が一般の労働者より労働時間が短いというデータをねつ造していたことが発覚し、裁量労働制の拡大については働き方改革法案から削除せざるを得なくなりまし

た。しかし、安倍内閣は財界の求める「残業代ゼロ」の「高度プロフェッショナル制度」創設などはそ

第89回全京都統一メーデー宣言

私たちは、本日、「働くものの団結で、生活と権利、平和と民主主義を守ろう」のスローガンを掲げ、闘う歴史と伝統を受け継ぎ、第89回全京都統一メーデーを開催しました。

いま、データねつ造、文書改ざん、隠蔽など国民と国会を欺き、民主主義をないがしろにする安倍政権の醜い姿が次々明らかになり、国民の怒りが頂点に達しようとしています。憲法も民主主義も踏みじり、政治を私物化する「安倍内閣は今すぐ退陣を」の声を大きくしていきましょう。安倍政権は、裁量労働制の拡大は見送ったものの「残業代ゼロ」「過労死合法化」の働き方改革法案の成立を狙っています。8時間働けばふつうに暮らせる賃金と働くルールの確立を求め、働き方改革法案の成立を阻止しましょう。安倍政権が発足して5年半、アベノミクスは大企業に富を集中させ、一方で賃金も消費も経済も冷やすものであったことが明らかになりました。加えて、年金・介護・医療など社会保障の相次ぐ改悪で暮らしはますます大変になっています。フ

トコロをあたたためて地域も元気にするたたかいは、今こそ出番です。安倍政権が改憲に執念を燃やしています。平和憲法を守り、生かすたたかいは正念場です。戦争法強行以来の「戦争法廃止、立憲主義の回復」を掲げた粘り強いたたかいが継続・発展し、「安倍9条改憲NO! 全国統一署名(3000万署名)」の取り組みが大きく広がっています。「9条改憲許さぬ」「憲法を守ろう」の世論を大きくし、改憲発議ができない状況をつくりだしましょう。

働く者の団結で、18春闘勝利、賃上げと均等待遇を実現し、労働者・国民本位の経済を取り戻しましょう。

人間らしく働くルールの実現、すべての争議の勝利解決をめざしましょう。

労働組合を強く、大きくしましょう。

戦争法廃止、改憲許さぬ、憲法を守れ、「どこにも米軍基地はいらない」の声で、安倍政権を包囲しましょう。

福島と連帯し「原発再稼働は許さない」の声を大きく広げましょう。

全ての労働者・府民の力をいまこそ総結集することと呼びかけるものです。

働くものの団結、万歳! 第89回メーデー万歳! 2018年5月1日

第89回全京都統一メーデー大会



「働き方改革」反対のアピールデモ

のです。

今必要なのは、使用者の労働時間把握義務を明確にすること、サ

ービス残業を根絶すること、長時間・過密労働をな

くしていくこと、非正規労働者の待遇改

善と均等待遇の実現、最低賃金の大幅引

き上げなど「誰でも8時間働けばふつうに暮らせる賃金と働くルール」をつくる

ことです。

「働き方改革法案」の危険な内容を広く知らせ、反対の世論を急いで大きくしていくことが大事です。

職場・地域で「働き方改革法案」の内容を学習し、自分の働き方に直接かわる問題としてとらえることを重視しましょう。そして、街頭宣伝などでまわりの労働者・住民に知らせ、世論をつくっていくことを急ぎましょう。「働き方改

革反対」の署名を集めて国

会にとげましょう。「働

き方改革法案」を徹底審議

よう。

の、必ず廃案にさせまし

最低時給1500円めざし、

いまずぐ1000円に

夏のたたかいは、最低賃金引き上げの取り組みです。

厚生労働省が「結婚の壁」とする、年収300万円以下の労働者が1928万人にもなり、低賃金が社会問題化しています。最低賃金の大幅引き上げは待ったなしの課題です。

京都府の最低賃金額は時間額856円、これではフルタイム働いても月14万8773円にしかならず、まともな生活をおくることはできません。

個人消費の拡大で地域経済を活性化することもできません。

京都総評は、誰でもどこでも時間額1500円をめざし、早

京都労働局への請願署名

京都労働局への請願署名

京都労働局への請願署名

京都労働局への請願署名

京都労働局への請願署名



京都労働局への請願署名

京都府最低賃金は、京都府最低賃金審議会が審議されます。審議に向けて、京都労働局長に対する「最低賃金1000円への引き上げと中小企業支援政策の改善を求める請願署名」を開始しました。請願署名は7月下旬に予定している京都労働局への登壇・請願行動で提出します。1万筆を超える署名を集めて提出し、最低賃金の大幅引き上げを迫るために、職場・地域で「最賃署名」の取り組みをすすめましょう。